

(株)青戸バイサイドヒルズ

にしもと えり
 ★★【輝く女性】西本 絵里さん



(福井県大飯郡おおい町犬見)

小浜湾に架かる「青戸の大橋」の先の高台に広がる果樹園を運営する(株)青戸バイサイドヒルズ。西本絵里さんは設立当初(2015年)に20代で代表取締役に就任。現在、3人の子どもの育児の真ただ中です。

品質のよいブドウやかんきつの生産販売に加え、2023年にブドウの観光農園を開始。お客様がおおい町に足を運び、楽しく過ごす場を提供したいと、農業と観光業との融合に取り組んでいます。



せとか、スイートスプリング、西郷瓢柑(ひょうかん)など多種のかんきつを栽培



高品質でおいしいブドウづくりを目指す。品評会では金賞を獲得。

【経営概要】

経営面積：約115 a
 (ハウス 7棟、露地)
 品目：ブドウ(シャインマスカット等)
 かんきつ(せとか等) 他



果樹園と隣接した複合施設「青戸バイサイドヒルズ」

【女性活躍のポイント】

1. 観光業と農業を融合した事業展開

- ・果樹生産だけでなく、観光も組み合わせた事業を展開し、SNSで細やかに情報発信
- ・関連会社が運営する飲食・観光部門(レストラン、キャンプ場など)と連携

2. お客様の反応が原動力

- ・直売や観光農園を通して直にお客様の反応や評価を実感
- ・お客様からの「今年も美味しいね」というひとことが次作への原動力

3. 周囲のサポートによる育児との両立

- ・果樹の栽培管理は熟練した社員により、高品質、安定したものづくりを実現
- ・関連会社社長の父親にも意見を聞き、共に経営判断をすることもある

【西本 絵里さんからひとこと】

- ・観光農園を通し、お客様が楽しむ姿、思い出をつくる姿が直に感じられる。認知度が上がり、わざわざ足を運んでくれる人が増えるのがうれしい。
- ・「今年もよかった、来年も来たい」と思ってもらうことを信念とし、事業を進めている。安定したものづくりにより、販売、観光の両方面でお客様の想いを裏切らず、青戸バイサイドヒルズのファンを増やしていきたい。
- ・昨年から増えている外国人でのお客様が今後も増加すると期待している。アメリカの大学留学により培った英語力が活かし、インバウンドの受入れを充実していきたい。
- ・会社設立当初は、父親が進める地域資源を活かした観光事業の実現を追うことで精いっぱいだった。今でも不安もたくさんあり、会社のことを考えない日は1日もないが、経営者として事業を継続する責任を負っているし、もっともっとよい方向にもっていきたいと考えている。



社長業と育児にまい進する西本代表



海を望む大型ハウスや露地でブドウやかんきつを栽培